

現状

本圏は、千葉県の北東部に位置し、東南部は太平洋に面し、中央部は緩やかな北総台地、北部は利根川に沿った平野部で、茨城県境に面した水郷地帯となっています。

農業、水産業が中心ですが、成田空港に近接している地域では物流関係や先端技術産業なども進んでいます。

人口と高齢化

本圏の人口は、今後横ばい状況が続き、わずかながら減少傾向に向かうと予測されています。

本圏の平成12年の高齢化率をみると21.5%となっており、各圏域の中では2番目に高齢化率の高い圏域となっています。今後も着実に高齢化が進み、平成22年には4人に1人が高齢者という状況になると予測されています。

死亡の状況

本圏の年齢調整死亡率を10大死因の合計（平成9年～11年平均）でみると、男女とも県に比べかなり高い水準となっており、各圏域の中でも1番となっています。

死因別には、脳血管疾患、不慮の事故、自殺、糖尿病、男性のがん、肝疾患が県よりも高い水準となっており、なかでも脳血管疾患、不慮の事故、男性の糖尿病は極めて高い水準となっています。

また、周産期死亡率は平成9年から減少傾向にあり、平成11年では出生千対6.5と県よりもわずかに低い水準となっています。

改善の目標

本圏では、年齢調整死亡率が圏域の中では1番高く、死因別にみても高い水準の項目が多いため、生活習慣の改善、保健医療体制の充実など地域全体で取り組んでいくことが必要と考えられます。

死亡率の改善に関しては、男性のがん、脳血管疾患、糖尿病、女性の脳血管疾患、心疾患、不慮の事故が高くなっており、まだ改善の余地が比較的大きいものと考えられます。特に、脳血管疾患、不慮の事故、自殺、糖尿病などは重点的な対応が必要と考えられます。

男性

女性

SALT 順位			SALT 率順位			SALT 順位			SALT 率順位		
1位	がん	93人	1位	糖尿病	37.1%	1位	脳血管疾患	97人	1位	不慮の事故	35.3%
2位	脳血管疾患	89人	2位	自殺	30.1%	2位	心疾患	40人	2位	自殺	27.7%
3位	心疾患	37人	3位	肝疾患	29.2%	3位	不慮の事故	24人	3位	脳血管疾患	26.4%
4位	不慮の事故	32人	4位	不慮の事故	28.6%	4位	がん	23人	4位	糖尿病	24.6%
5位	自殺	16人	5位	脳血管疾患	27.6%	5位	肺炎	8人	5位	肝疾患	18.9%

現状

本圏は8圏域のなかで最も広い面積の圏域で、西側は東京湾、東側は太平洋に面しています。

東京湾岸は京葉工業地帯の中核をなし、太平洋側は農業あるいはリゾート地であり、また内陸部は農業を中心とする地域となっており、他の圏域に比べ地域差が大きいのという特徴を持っています。

人口と高齢化

本圏の人口は横ばい状況であり、圏域内では市原地域は増加し、夷隅地域については減少していました。圏域全体では、今後は緩やかに増加していくものと予測されています。

本圏の平成12年の高齢化率をみると17.0%となっており、各圏域の中では3番目に高齢化率の高い圏域となっています。今後も着実に高齢化が進み、平成22年にはほぼ4人に1人が高齢者という状況になると予測されています。

死亡の状況

本圏の年齢調整死亡率を10大死因の合計(平成9年～11年平均)でみると、男女とも県に比べ高い水準となっています。

死因別には、脳血管疾患、不慮の事故、糖尿病、男性の心疾患、自殺が県よりも高い水準となっており、なかでも糖尿病は極めて高い水準となっています。

また、周産期死亡率は平成9年から増加傾向にあり、平成11年では出生千対9.8と県下で1番高い水準となっています。

改善の目標

本圏では、今後の急速な高齢化に対応していく一方、周産期を中心とした母子保健を早急に充実させていくことが必要と考えられます。

死亡率の改善に関しては、男女とも心疾患、脳血管疾患、糖尿病についてまだ改善の余地が比較的大きいものと考えられます。また、不慮の事故、自殺について重点的な対応が必要と考えられます。

男性

女性

SALT 順位			SALT 率順位			SALT 順位			SALT 率順位		
1位	心疾患	59人	1位	糖尿病	31.0%	1位	脳血管疾患	71人	1位	糖尿病	29.7%
2位	脳血管疾患	42人	2位	自殺	27.0%	2位	心疾患	56人	2位	不慮の事故	23.5%
3位	不慮の事故	31人	3位	不慮の事故	23.0%	3位	不慮の事故	16人	3位	自殺	21.5%
4位	自殺	21人	4位	腎不全	19.7%	4位	肺炎	12人	4位	肝疾患	20.0%
5位	肺炎	13人	5位	肝疾患	18.7%	5位	糖尿病	10人	5位	脳血管疾患	19.6%

現状

本圏は、千葉県の南端部に位置し、西部は東京湾、東部・南部は太平洋に面し、北部は房総丘陵の一角を占めています。房総丘陵の一角を占める地域は、森林が総面積の半分以上もあり、北部には300m以上の山が連なっています。

また、年間平均気温が16.7度と県内でも特に温暖な気候に恵まれています。

本圏では、農業、水産業が中心ですが、地域の過疎化・高齢化が進行しており、今後の就業構造、社会福祉等に大きな影響を与えるものと考えられます。

人口と高齢化

本圏の人口はわずかながら減少してきましたが、今後は横ばい状況で推移するものと予測されています。

本圏の平成12年の高齢化率をみると27.4%と非常に高くなっており、各圏域の中でも1番目に高齢化率の高い圏域となっています。今後も着実に高齢化が進み、平成22年にはほぼ3人に1人が高齢者という状況になると予測されています。

死亡の状況

本圏の年齢調整死亡率を10大死因の合計（平成9年～11年平均）でみると、男女とも県に比べ低い水準となっており、特に女性は極めて低くなっています。

死因別には、不慮の事故、自殺、男性の脳血管疾患、肝疾患、腎不全が県よりも高い水準となっています。

また、周産期死亡率は、平成11年では出生千対2.9と県下で1番低い水準となっています。

改善の目標

本圏では、地域の過疎化・高齢化に対応していくことが重要と考えられます。

生活習慣病に関しては、特に女性は模範となるほど良好と考えられます。

死亡率の改善に関しては、男女とも心疾患が改善余地が比較的大きいものと考えられます。また自殺、不慮の事故については重点的な対応が必要と考えられます。

男性

女性

SALT 順位			SALT 率順位			SALT 順位			SALT 率順位		
1位	心疾患	22人	1位	自殺	40.9%	1位	心疾患	13人	1位	自殺	25.4%
2位	脳血管疾患	14人	2位	肝疾患	26.9%	2位	不慮の事故	7人	2位	不慮の事故	24.8%
3位	自殺	12人	3位	腎不全	23.0%	3位	がん	6人	3位	糖尿病	14.4%
4位	不慮の事故	9人	4位	不慮の事故	20.1%	4位	脳血管疾患	5人	4位	腎不全	10.4%
5位	肺炎	6人	5位	糖尿病	18.1%	4位	肺炎	5人	5位	心疾患	8.4%

君津二次保健医療圏域 人口 32.6万人 高齢化率 16.1% 年齢調整死亡率540.8

現状

本圏は、千葉県の中央西部に位置し、西部は東京湾に面し、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市の4市で構成されています。

臨海部は、県の臨海工業地帯の南端を占め、企業の進出に伴い都市化が進み、内陸部は多くの農地を有し近郊農業地帯となっており、山間部は恵まれた豊かな自然が残されています。

人口と高齢化

本圏の人口は、近年わずかながら減少してきました。袖ヶ浦市は増加傾向にありますが、他の3市が減少傾向にあるためです。圏域全体では、今後は緩やかに増加していくものと予測されています。

本圏の平成12年の高齢化率をみると16.1%となっており、各圏域の中では4番目に高齢化率の高い圏域となっています。今後も着実に高齢化が進み、平成22年にはほぼ4人に1人が高齢者という状況になると予測されています。

死亡の状況

本圏の年齢調整死亡率を10大死因の合計（平成9年～11年平均）でみると、男女とも県に比べ高い水準となっており、香取海匝に次いで2番目に高くなっています。

死因別には、心疾患、脳血管疾患、肺炎、不慮の事故、自殺、肝疾患が県よりも高い水準となっています。特に、心疾患と肺炎が際立っています。

また、乳児死亡率、新生児死亡率は、本圏だけ平成元年～5年の平均に比べ、平成6年～10年の平均が増加傾向にあります。また、周産期死亡率は減少傾向にあり、平成11年では出生千対6.4と県よりもわずかに低い水準となっています。

改善の目標

本圏では、生活習慣の改善、保健医療体制の充実などについて地域全体で取り組んでいくことが必要と考えられます。

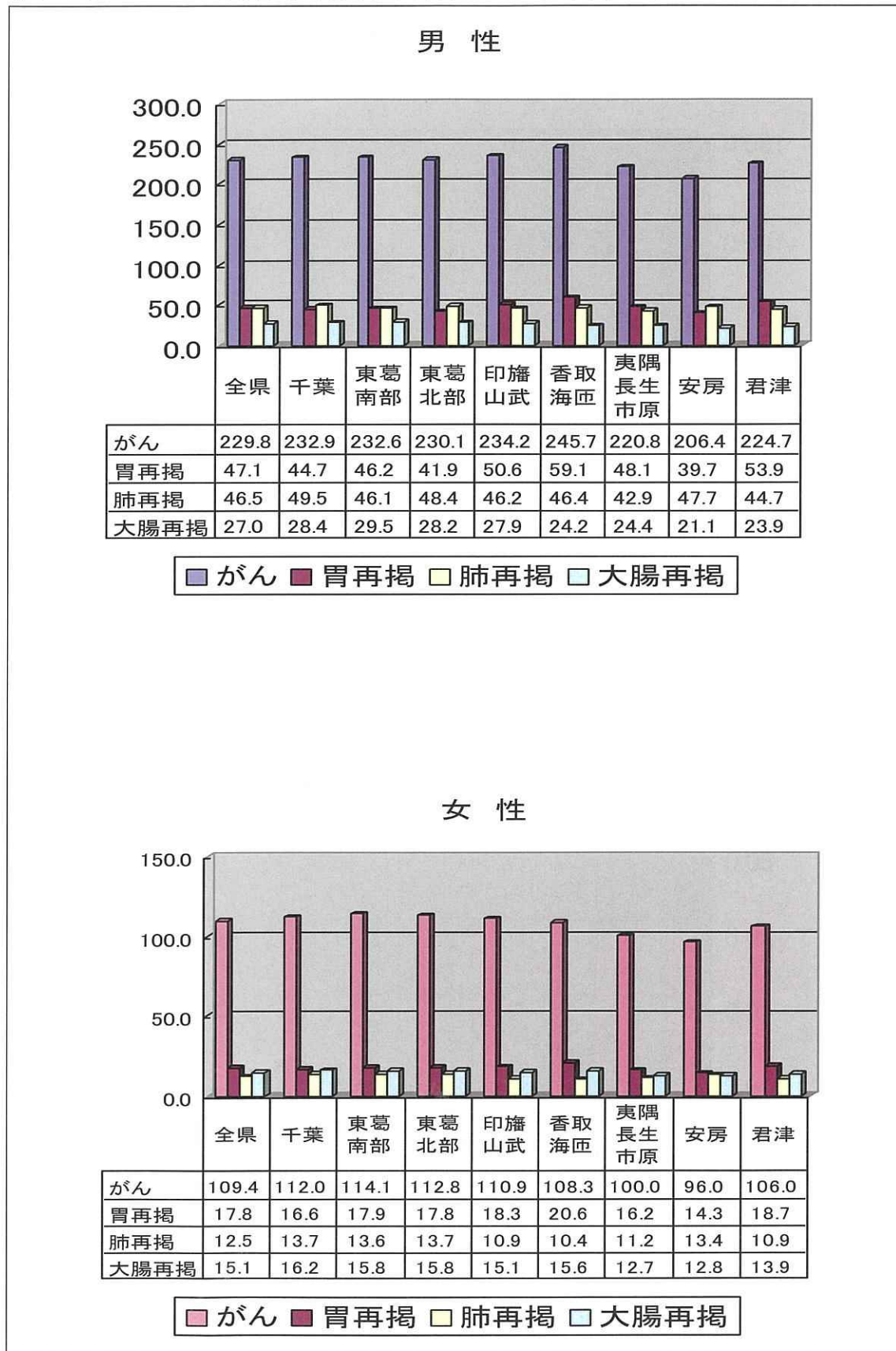
男女とも自殺と心疾患にまだ改善の余地が比較的大きいものと考えられます。このほかに男性の不慮の事故については、重点的な対応が必要となります。

男性

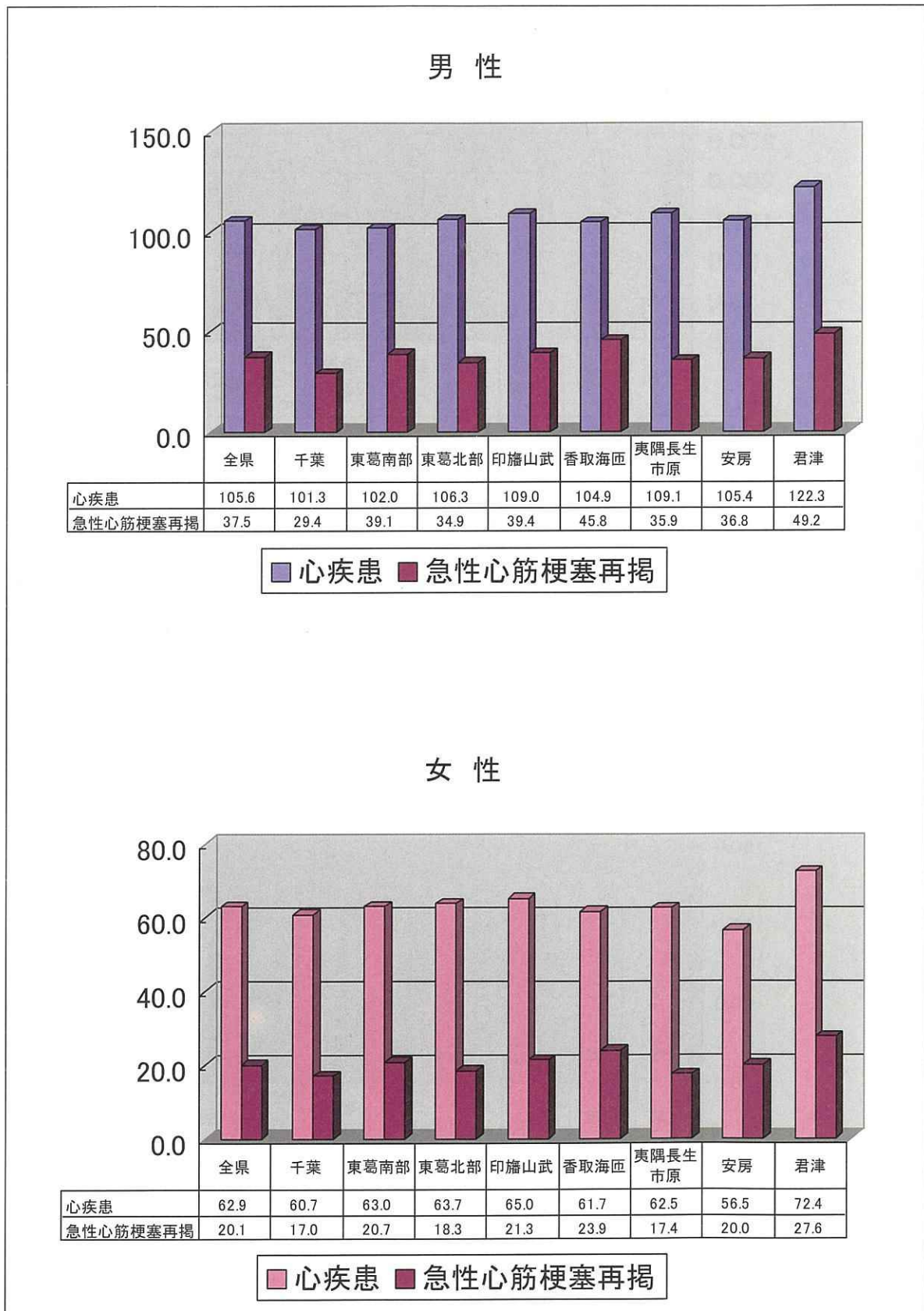
女性

SALT 順位			SALT 率順位			SALT 順位			SALT 率順位		
1位	心疾患	59人	1位	自殺	48.8%	1位	心疾患	57人	1位	自殺	31.9%
2位	自殺	32人	2位	心疾患	26.3%	2位	肺炎	32人	2位	肺炎	28.5%
3位	がん	30人	3位	不慮の事故	25.6%	3位	脳血管疾患	24人	3位	心疾患	26.2%
4位	肺炎	22人	4位	肺炎	19.4%	4位	がん	14人	4位	糖尿病	25.1%
5位	不慮の事故	21人	5位	糖尿病	18.4%	5位	自殺	7人	5位	肝疾患	24.3%

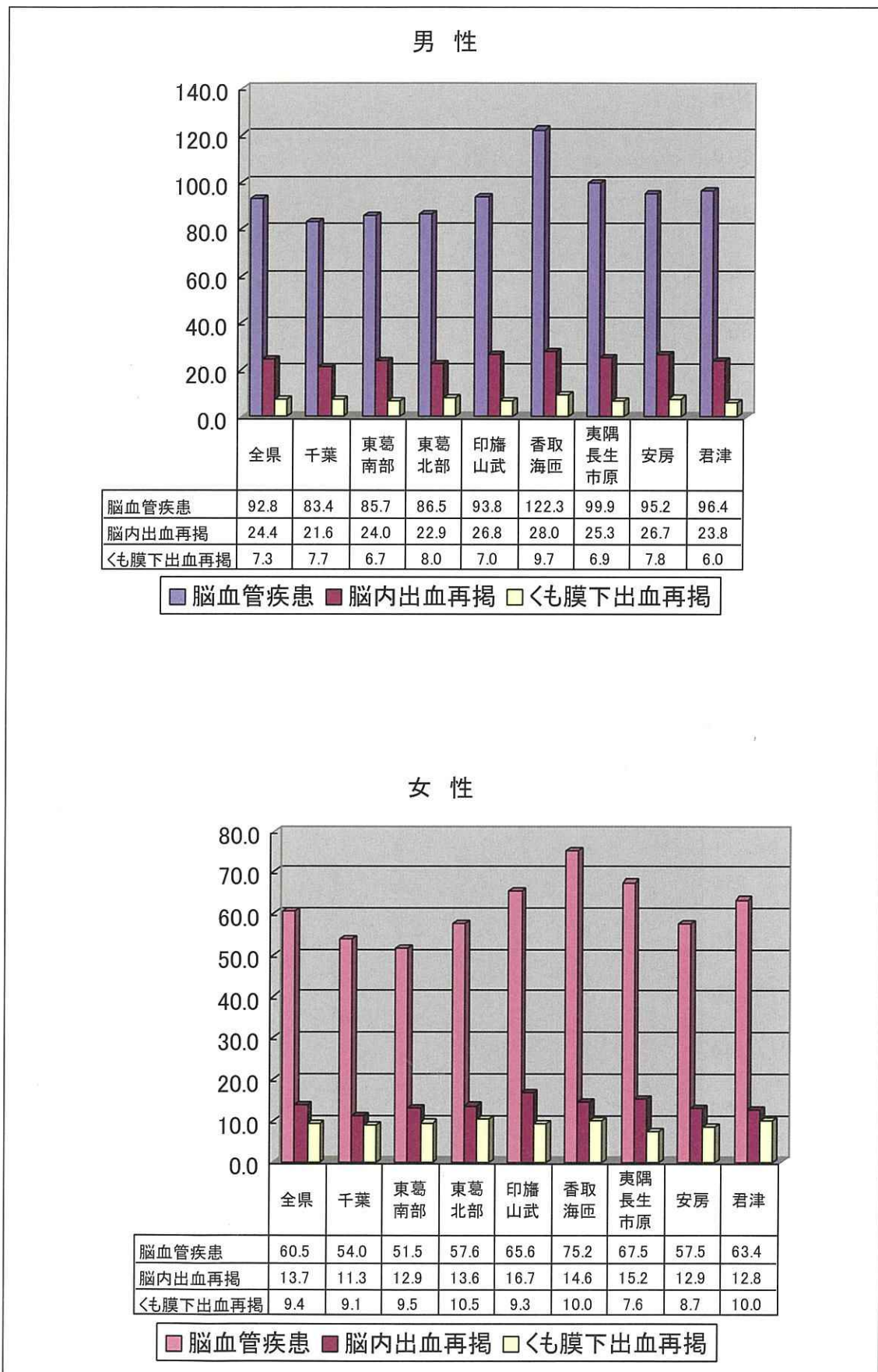
〔図-1〕 がんの二次保健医療圏別年齢調整死亡率（平成9年～11年平均）



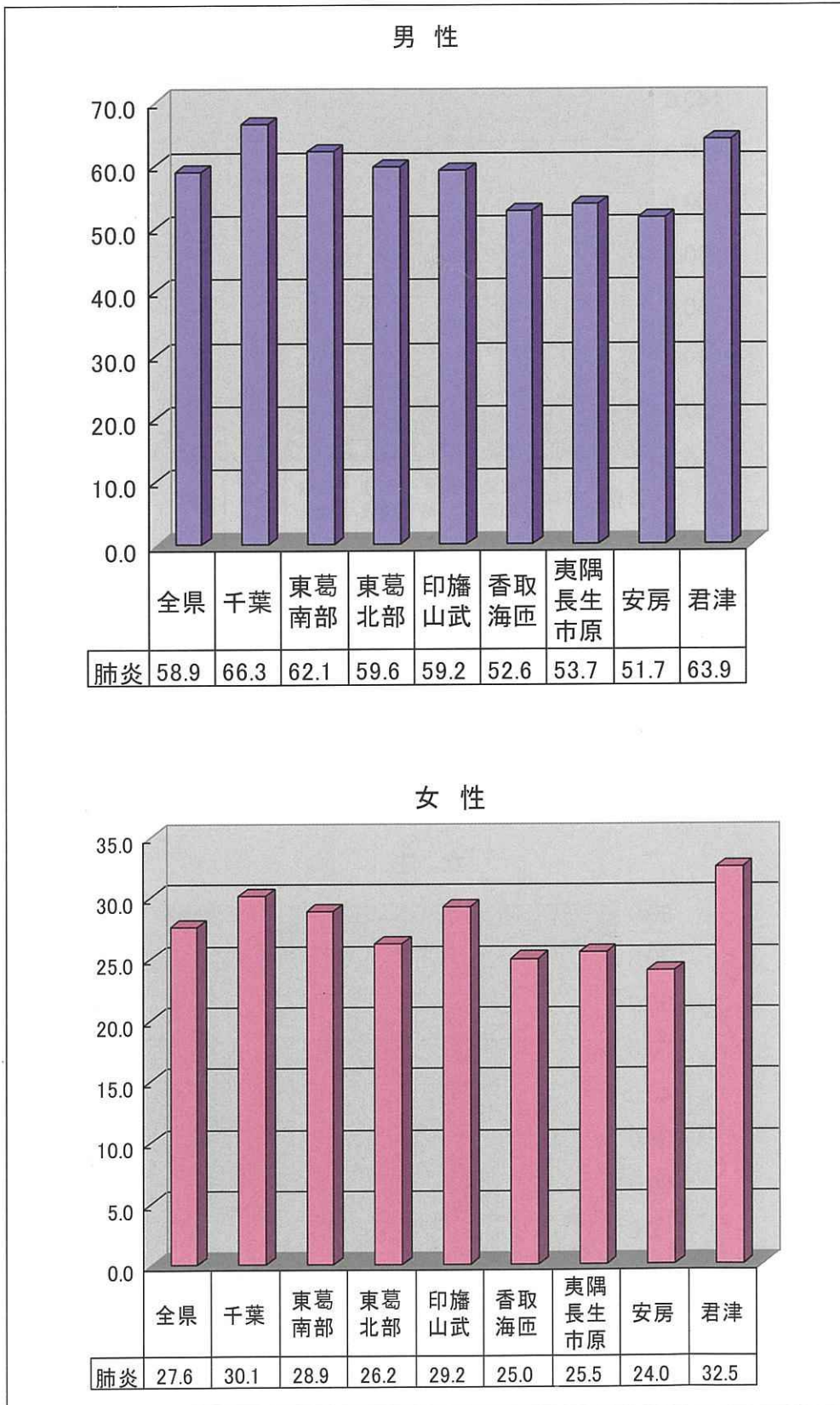
[図-2] 心疾患の二次保健医療圏別年齢調整死亡率（平成9年～11年平均）



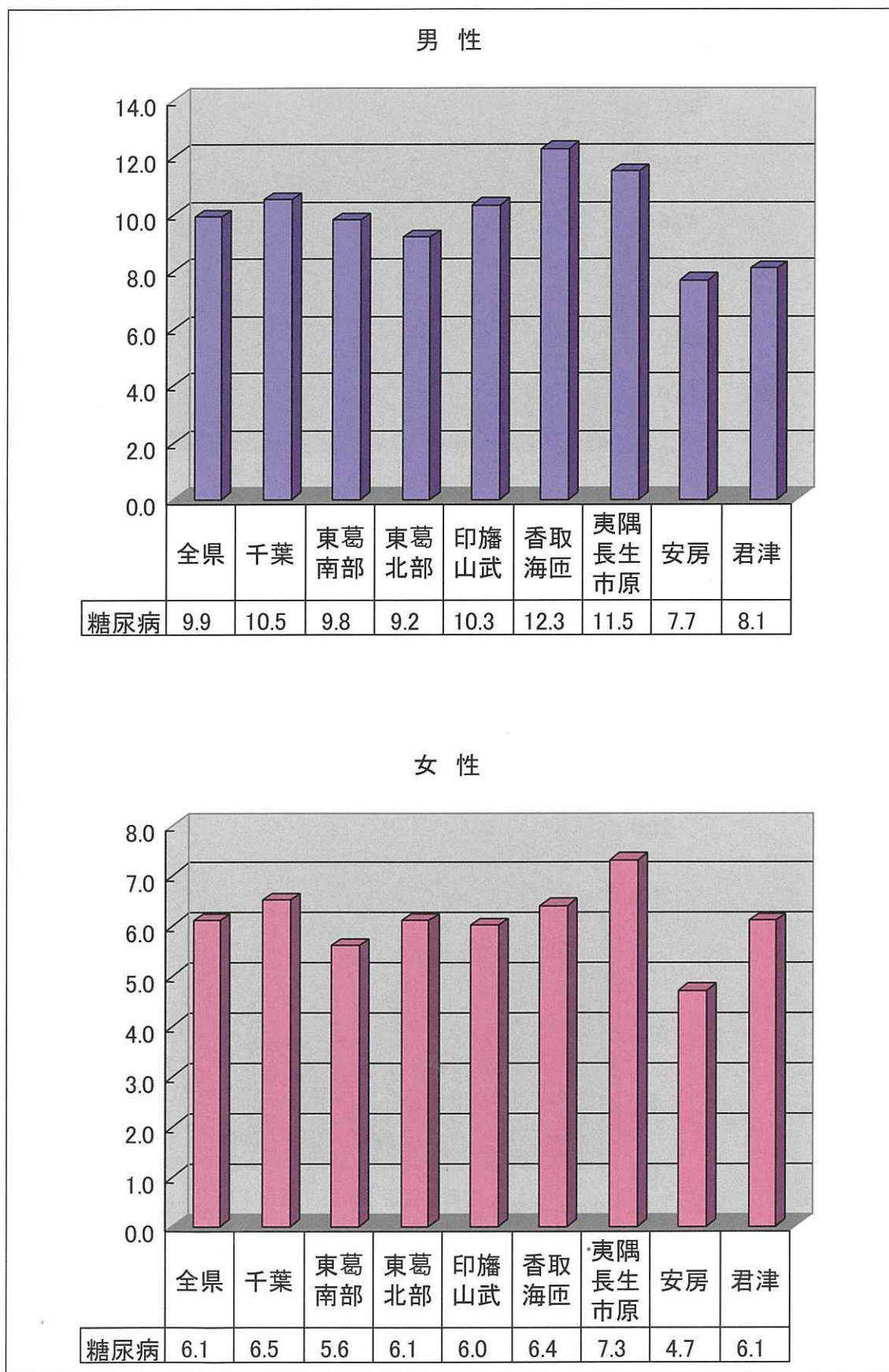
〔図－3〕 脳血管疾患の二次保健医療圏別年齢調整死亡率（平成9年～11年平均）



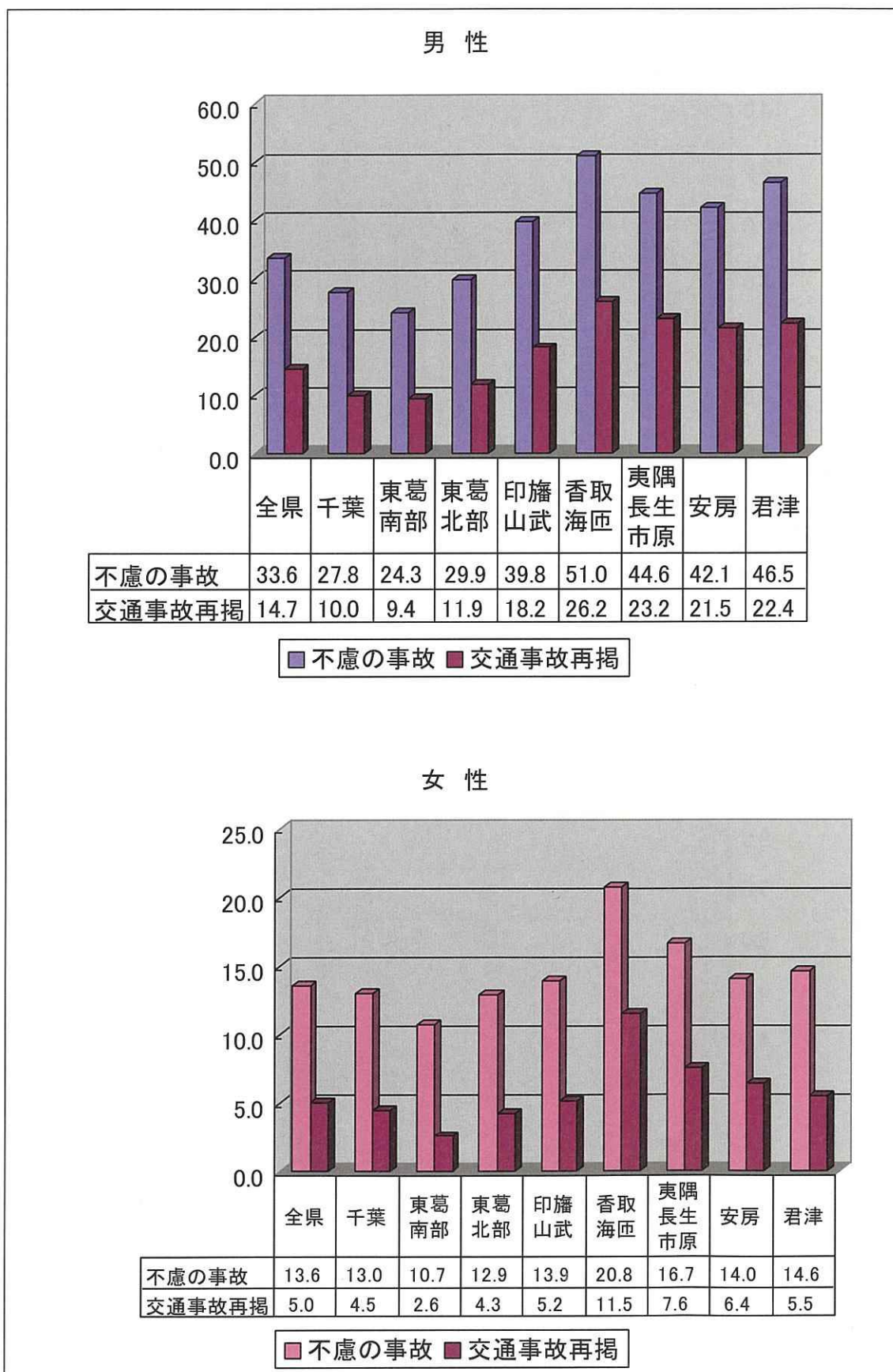
[図-4] 肺炎の二次保健医療圏別年齢調整死亡率（平成9年～11年平均）



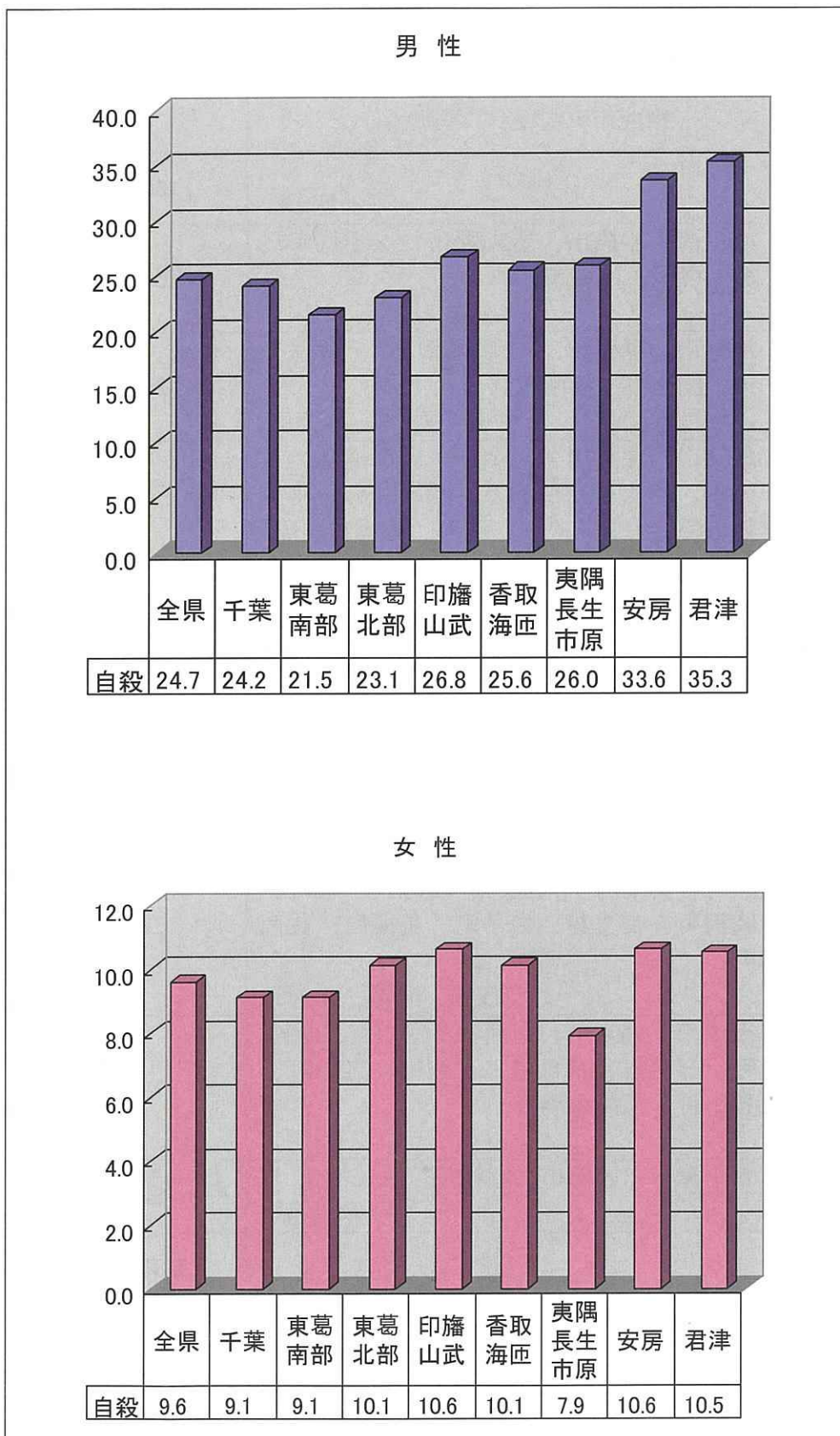
〔図－5〕 糖尿病の二次保健医療圏別年齢調整死亡率（平成9年～11年平均）



[図-6] 不慮の事故の二次保健医療圏別年齢調整死亡率（平成9年～11年平均）



[図-7] 自殺の二次保健医療圏別年齢調整死亡率（平成9年～11年平均）



(参考)

千葉県における二次保健医療圏

二次保健医療圏	構成市町村名 (保健所名)	人口 (人)	面積 (k m ²)
千葉	千葉市 (千葉市)	866,107	272.08
東葛南部	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、 鎌ヶ谷市、浦安市 (習志野、船橋、市川)	1,529,856	253.93
東葛北部	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子 市、関宿町、沼南町 (松戸、柏、野田)	1,252,586	358.24
印旛山武	成田市、佐倉市、東金市、四街道市、八 街市、印西市、白井市、酒々井町、富里 町、印旛村、本埜村、栄町、大網白里町、 九十九里町、成東町、山武町、蓮沼村、 松尾町、横芝町、芝山町 (佐倉(成田支所)、山武)	842,025	1,003.60
香取海匝	銚子市、佐原市、八日市場市、旭市、下 総町、神崎町、大栄町、小見川町、山田 町、栗源町、多古町、干潟町、東庄町、 海上町、飯岡町、光町、野栄町 (香取、海匝)	363,805	832.12
夷隅長生市原	茂原市、勝浦市、市原市、大多喜町、夷 隅町、御宿町、大原町、岬町、一宮町、 睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南 町 (茂原、勝浦、市原)	526,501	1,101.63
安房	館山市、鴨川市、富浦町、富山町、鋸南 町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、 和田町、天津小湊町 (安房)	149,121	576.84
君津	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市 (木更津)	326,472	757.54
合 計		5,856,473	5,155.98

※ 人口：平成10年4月1日現在